

「みづべ」の歴史 その4 リバーフェスタ江東

旧中川・川の駅ができ、水陸両用バスのスロープや休憩施設ができた、2013年(平成25年)3月16日にオープニングイベントを計画することになりました。これは江東区から相談を受けたもので、3月16日(土)と17日(日)にリバーフェスタ江東として開催されました。2011年3月に東日本大震災が発生しましたが、その2年後に始められたイベントでした。

翌年の2014年から毎年3月に開催してきました。カヌーやヨットなどの水上パレードによるオープニングに始まり、スカイダック、和船、カヌー、周遊船などの乗船体験、江東区の観光案内処を設置したり、テントを設営しての防災体験、さらに町内会の協力による飲食物の販売、東京海洋大学や芝浦工業大学の協力による工作教室なども実施してきました。

2020年3月は、新型コロナ感染が拡大し、中止せざるを得ない状況になり、直前に中止を決めました。

リバーフェスタ江東は、区役所の助言により始められ、近隣の町会とも協力してイベントを行なうことを目指し、区役所、町内会、協力会社とともに実行委員会をつくって運営してきましたが、一方で町内会の一部からは特定の企業のために開催していると誤解されていたことは、非常に残念に思っています。

しばらく中止期間が続き、町内会も力を入れられなくなってきたので、このイベントも体質を変える必要があると考えています。その一つの試みとして同じ場所で、「夜の水彩カフェテラス」を開催してきました。

江東区の水辺の親しむ会では、旧中川・川の駅周辺の魅力について、様々な催しを行なうだけでなく、継続的な活動を通じて多くの方に知ってもらいたいと考えています。

(本会理事 庄司邦昭)



カヌーによる水上パレード

イベント情報

水彩サロン 2022 秋学期「各講師が語る 地元の歴史探訪」

第1回 9/25 「地名から読み解く」 地名が語るすみだの歴史 (本所区編)

会場:森下文化センター
14時から 16時

高野祐次 (墨田区副区長)

第2回 10/16 「江戸・黄表紙の世界」 深川・木場にも名だたる戯作者が… 棚橋正博 (日本近世文学者)

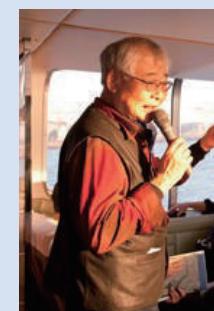
第3回 11/20 「中村学園物語」 [ほんたうのさいはひ] を尋ねて 小林和夫 (中村学園 前理事長・校長)

宮村忠先生追悼記事

本会員の宮村忠先生(関東学院大学名誉教授)が2022年(令和4年)9月3日、83歳でお亡くなりになられました。先生は1939年(昭和14年)6月22日東京市深川区でお生まれになりました。河川工学が専門で「水害と土地利用に関する実証的研究」で1975年に東京大学から工学博士号を授与されています。

本会では長年にわたり、水彩サロンとして「河川塾」を開催し、毎回日本の各県とともに河川についての興味あるお話ををしていただきました。その内容も含めて、『川を巡る—「河川塾」講演録—』が日刊建設通信新聞社より刊行されています。記憶に残るのは「下流部にある江東区の人たちが安心して生活できるのは上流部のお陰」という言葉で、皆で先生と渡良瀬遊水地を訪問しその言葉を実感しました。

宮村先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



船上での講演



豊洲ぐるり公園船着場到着

の知識を深堀りで得ることができました。オリンピックパラリンピックで使用された会場も水辺から見ると、陸上からの距離感とはまた違い、水を介して、ひとつづきの地形のなかに、まちの連続性を感じられました。そうするうち、いよいよ豊洲マリーナ(東電堀)に到着です。

セラピティ東京さんのガイドのもと、ハンザの乗船体験をさせていただきました。3グループに分かれて、水上で安全についての講義を受けるグループ、ハンザのつくりなどについての講習を受けるグループ、実際にガイドさんと一緒にハンザに乗って、体験をするグループに分かれて体験をしました。この日は風も心地よく、ハンザが良く走る、心地の良いコンディションでした。コロナ下での開催でしたので、体験者が代わる度のハンドルの消毒など、工夫をしながらも、全員が体験することができました。まちのこと、地域の魅力のこと、自分の肌の体験として、楽しいや気持ちいいを持ち帰ってもらいました。参加者には地域で、地域の資源を活用してエコに魅力のあるまちをつくっていく活動を、実体験とともに感じ、学習してもらえる機会となつたかと思います。本当に嬉しい良かったです。自分の住むまちを継続して持続可能に楽しんでいくヒントをたくさん提供していただけた、素晴らしい講座をありがとうございました。

えこっくる江東 諏訪正晃

2020年 2021年の活動

新型コロナウイルス感染拡大状況で本会の活動も制限される中で、水彩サロンとCIG活動はほぼ平年並みに実施された。



<水彩サロン>

suisai salon

水彩サロンはコロナの影響で2020年は開催月を遅らせて実施しました。2020年2021年のいずれも会場は森下文化センターにて、日曜日の14時から16時に開催しました。

2020年春学期

- 第1回：6月14日「渋沢栄一の足跡」
- 第2回：7月5日「渋沢栄一の精神」
- 第3回：8月9日「渋沢家と佐々木家」
- 佐々木勇（滋澤倉庫）



「渋沢家と佐々木家」



「中村学園、深川に生まれて百十二年」



「深川談義～熟女3人（？）深川の粹を語る～」

2020年秋学期

- 第1回：10月11日「あのとき、あと数時間で荒川決壊」土屋信行（リバーフロント研究所技術参与）
- 第2回：11月8日「設計士の目で見た江東の橋「トラス」と「ゲルバー」」高浦秀明（橋梁設計士）
- 第3回：12月6日「小名木川秘話」山本鉱太郎（旅行作家）

2021年春学期

- 第1回：5月16日「中村学園、深川に生まれて百十二年」小林和夫（中村学園前理事長）
- 第2回：6月13日「俳聖・松尾芭蕉翁の二つの側面」①佐藤勝明（和洋女子大学教授）
- 第3回：7月11日「俳聖・松尾芭蕉翁の二つの側面」②佐藤勝明（和洋女子大学教授）

2021年秋学期

- 第1回：9月19日「深川談義～熟女3人（？）深川の粹を語る～」魚住昭子（料亭金柳女将）、片山祐子（タウン誌深川編集長）、須永倣子（本会理事長）
- 第2回：10月10日「大河ドラマ“青天を衝け”に想いを寄せて」佐々木勇（滋澤第一翁の語りべ）
- 第3回：11月14日「奥の細道と芭蕉の旅」梅津保一（NPO法人「おくのほそ道」大学学長）

<CG活動報告>

city in the green

江東区からの委託を受けて実施しているCIG (City in the Green) 活動では、次のようなキャンペーン、講習会、交流会などを実施しました。

2020年度

- キャンペーンの実施（深川ギャザリアガーデンフェスタ：4月13日、4月14日）（水彩フェスティバル：9月23日）
- （江東区民まつり中央まつり：10月19日）
- （豊洲マルシェ：10月26日、10月27日）
- （グリーンフェスタin東陽公園：11月17日）
- 新規モニター植付け講習（5月26日、9月29日、2月29日2カ所、3月1日）
- 継続モニター植栽管理講習（4月12日、5月2日、5月12日、5月19日、6月2日）
- 交流会開催（9月1日、10月5日、11月24日、12月8日2回）
- 最終交流会（2月16日）
- ニュースレター発行（7月1日、11月1日、2月1日）



2020年の講習会の様子



2021年の交流会の様子

2021年度

- 新規モニター植付け講習（6月26日1回、3月20日2回）
- 継続モニター植栽管理講習（11月20日1回、11月21日1回、11月29日2カ所）
- 交流会開催（7月11日、12月11日、3月13日）
- ニュースレター発行（8月13日、11月23日、3月25日）



《その2 緑橋》高浦秀明（橋梁設計士）

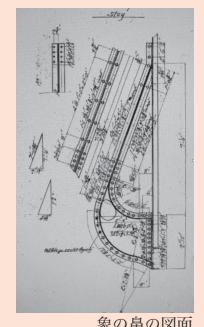
門前仲町からまたは永代橋から歩いてきて福島橋で北側を見ると緑色の橋が見えます。下を流れる川は大島川西支川（もと油堀川）です。北の仙台堀から大横川に向かって、松永橋、元木橋、緑橋、御船橋、福島橋、巽橋の6橋。緑橋と同じ復興橋梁の御船橋は取り壊され架け替えられています。

緑橋の創架は元禄4年（1691）。忠臣蔵の騒動は橋ができる10年後のことです。付近の松賀町の松の緑に因んで緑橋と名づけられました。江戸時代には幕府の管理する御入用橋と町人の管理する町管理の橋があり、緑橋は幕府の管理する橋でした。以来大正まで木橋で長さ10間、幅2.5間（18m×4.5m）でした。大正12年の関東大震災では緑橋も昔ながらの木造だったので焼失してしまいました。東京市内で震災により落橋した橋は少なかったのですが火災による橋の被害は甚大でした。

震災後の復興橋梁として、昭和3年から翌年の工事で現在のトラス橋が完成しました。橋長23m。これは江東区に現存するトラス13橋の中で最も短いものです。規模は大きくないですが、名前と形がマッチした素敵な橋です。大型のトラスは天井に両サイドの主構同志をつなげる部材がありますが、緑橋は天井のつながっていないボニートラス形式です。外側のカーブした支柱が秀逸。工芸品としても見どころがあります。戦中戦後90年を生き延びてきた江東区の水辺の宝です。基本構造は建設時から変わっていませんが、照明その他細部は戦時中の金属供出で外されたと思われます。



周辺の景観はごちゃごちゃして写真も撮りにくい。また親柱などもずれていてせっかくの素敵な橋がもったいない。鑑賞する場の整備も重要です。



最寄り駅：地下鉄東西線・大江戸線門前仲町駅歩10分。 昭和4年（1929）建設。

一つづく